

2012年3月期業績予想修正および 重点施策の進捗報告

代表取締役社長 竹中 博司

2011年10月28日



TOKYO ELECTRON

CORP IR/October 28, 2011

▶ 半導体設備投資

世界経済の減速から、半導体市況も回復が遅れており、半導体設備投資規模は期初予想の昨年比(FY)約10%増から、現状では10%程度の減少を見込んでいる。一方、2012年には新たなスマートフォン、タブレット向けに32/28nmの先端プロセスの採用が見込まれ、ロジック・ファウンドリーを中心とした投資回復が期待される。

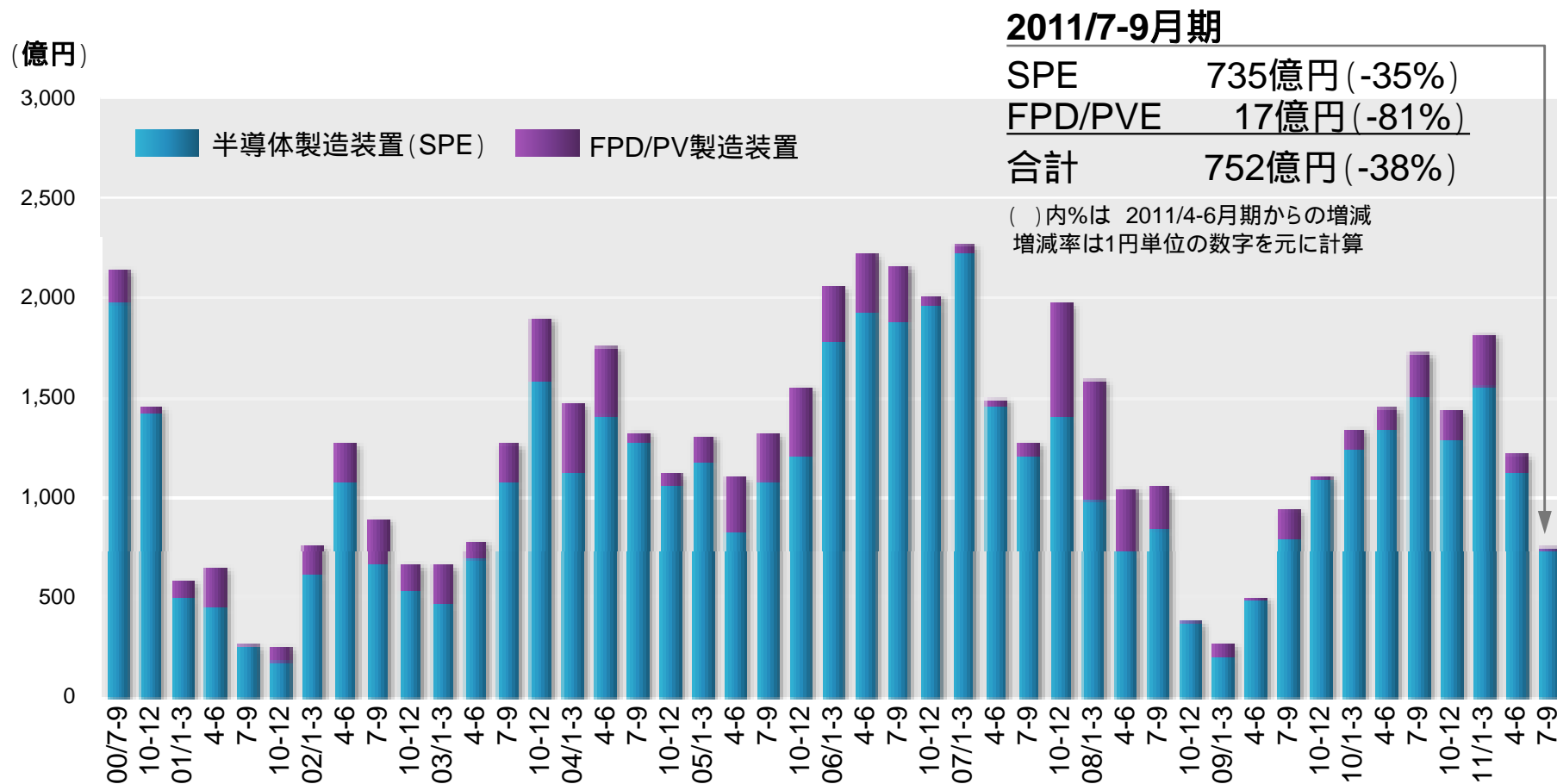
▶ FPD設備投資

大型パネル向け投資は依然として低迷し、中小型パネル投資はある程度期待するものの、全体の設備投資を押し上げるほどの規模にはない。

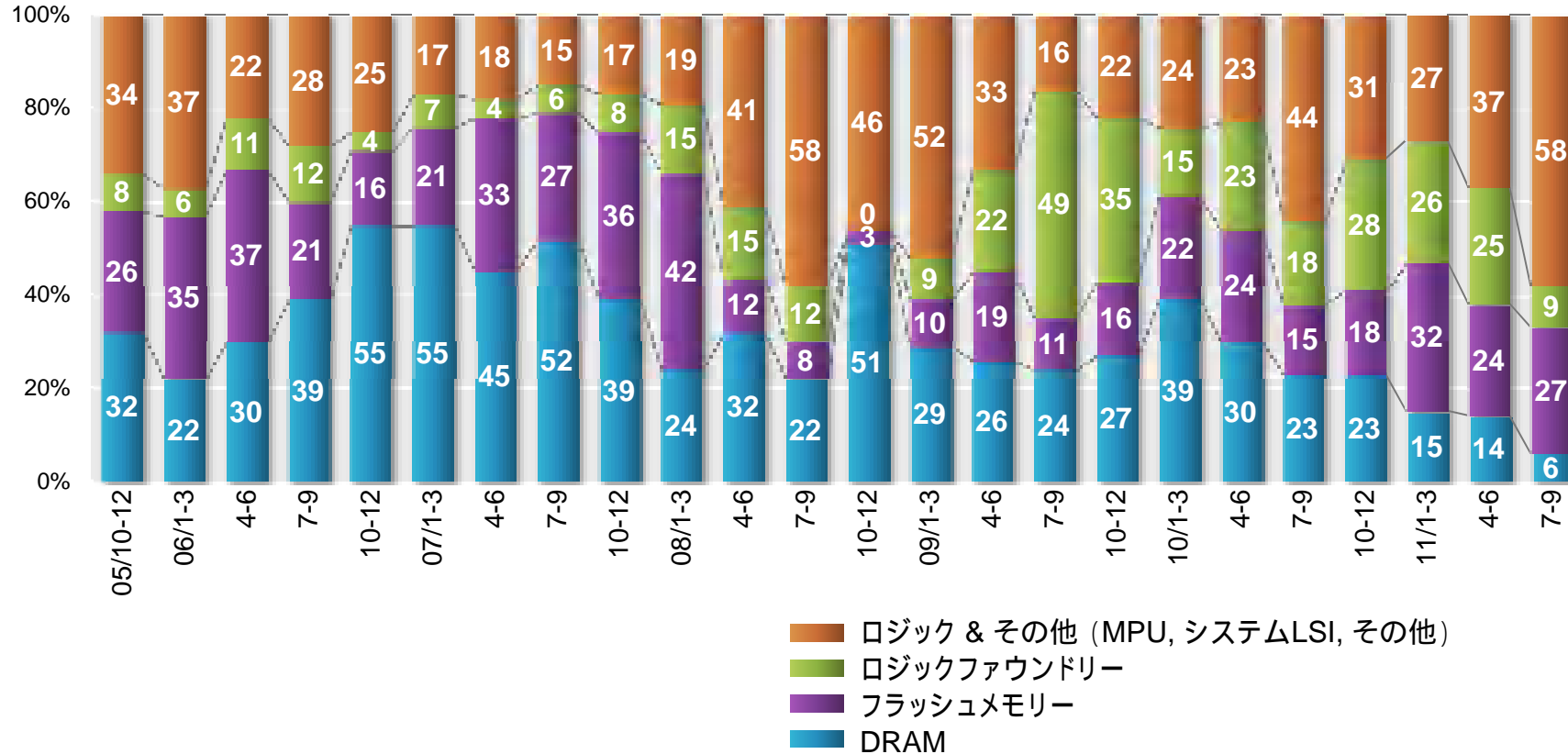
▶ PV設備投資

太陽光エネルギーに関しては、世界需要の7割を占める欧州の景気悪化に加え、中国メーカーの価格攻勢などにより、厳しい市場環境に陥っている。薄膜シリコン系の普及に関しては、中期的な成長期待は大きいですが、コストを含めた更なる性能向上が必要である。

四半期 受注額



四半期 アプリケーション別SPE受注



グラフは装置本体受注における構成比を示しています

2012年3月期 業績予想修正

(億円)

	FY2011	FY2012					
		上期 実績	下期		通期		通期 修正額
			8/1予想	新予想	8/1予想	新予想	
売上高	6,687	3,263	3,050	3,037	6,400	6,300	-100
SPE	5,113	2,483	2,170	2,217	4,700	4,700	-
FPD/PVE	667	366	370	349	750	715	-35
EC/CN	902	410	510	470	950	880	-70
その他	4	2	-	3	-	5	+5
営業利益	978	368	150	202	500	570	+70
下段: 営業利益率	14.6%	11.3%	4.9%	6.7%	7.8%	9.0%	+1.2pts
税前利益	995	392	160	208	520	600	+80
当期純利益	719	266	110	134	340	400	+60
1株当たり配当金(円)	114	53	22	27	67	80	+13

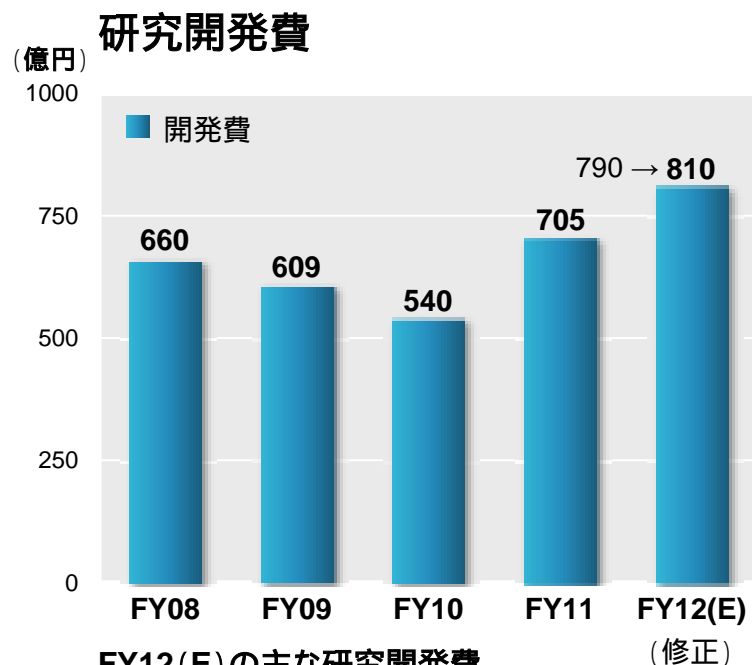
SPE: 半導体製造装置

FPD/PVE: フラットパネルディスプレイ及び太陽電池製造装置

EC/CN: 電子部品/コンピュータ・ネットワーク

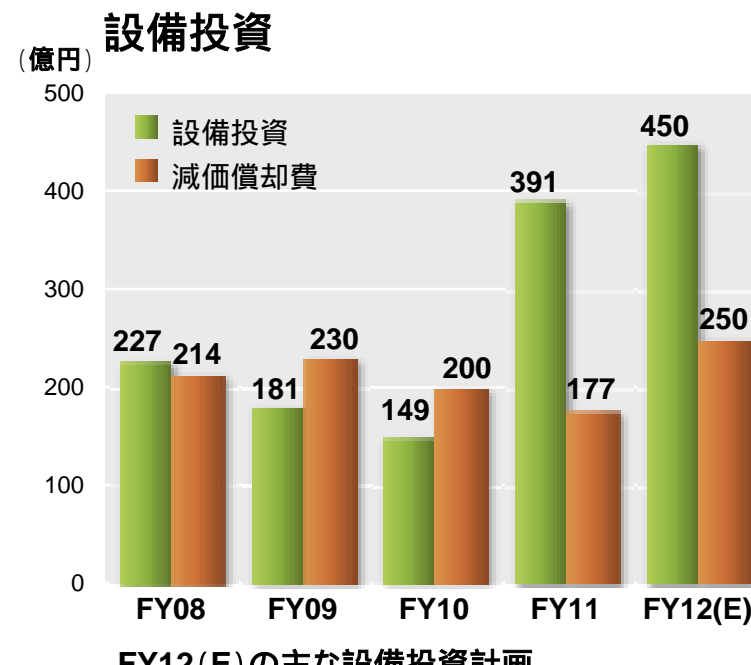
FPDの市場減速の影響を受けるも、連結利益は上方修正

研究開発費・設備投資 高水準を維持



FY12(E)の主な研究開発費

- 既存分野 約60%
 - 新規分野 約40%
- (RLSAアプリ拡大、3DI, 有機EL, テスト、PV他)



FY12(E)の主な設備投資計画

- 宮城新工場
- 中国 昆山新工場
- プロセス技術センター (韓国)
- 東京エレクトロンテクノロジーセンターつくば
- 機械装置/測定器

事業環境は厳しいが、成長投資は高水準を維持

事業 ハイライト

エッチング装置

- 酸化膜でのシェアを高いレベルで維持、ポリシリコン市場に本格参入
- 従来のエッチングシステム部とRLSA部の組織を一本化
顧客ごとのベストソリューションを提供
- 宮城新工場、10月11日より稼働開始
開発から製造までの一貫体制により製品競争力を強化

洗浄装置

- 新製品3機種を市場投入 (CELLESTA™-i, EXPEDIUS™-i, NS300+HT)
- ドライ洗浄装置 (Certas WING™) に対する需要増

枚葉成膜装置

- High-k metal gate用CVD装置、量産採用開始

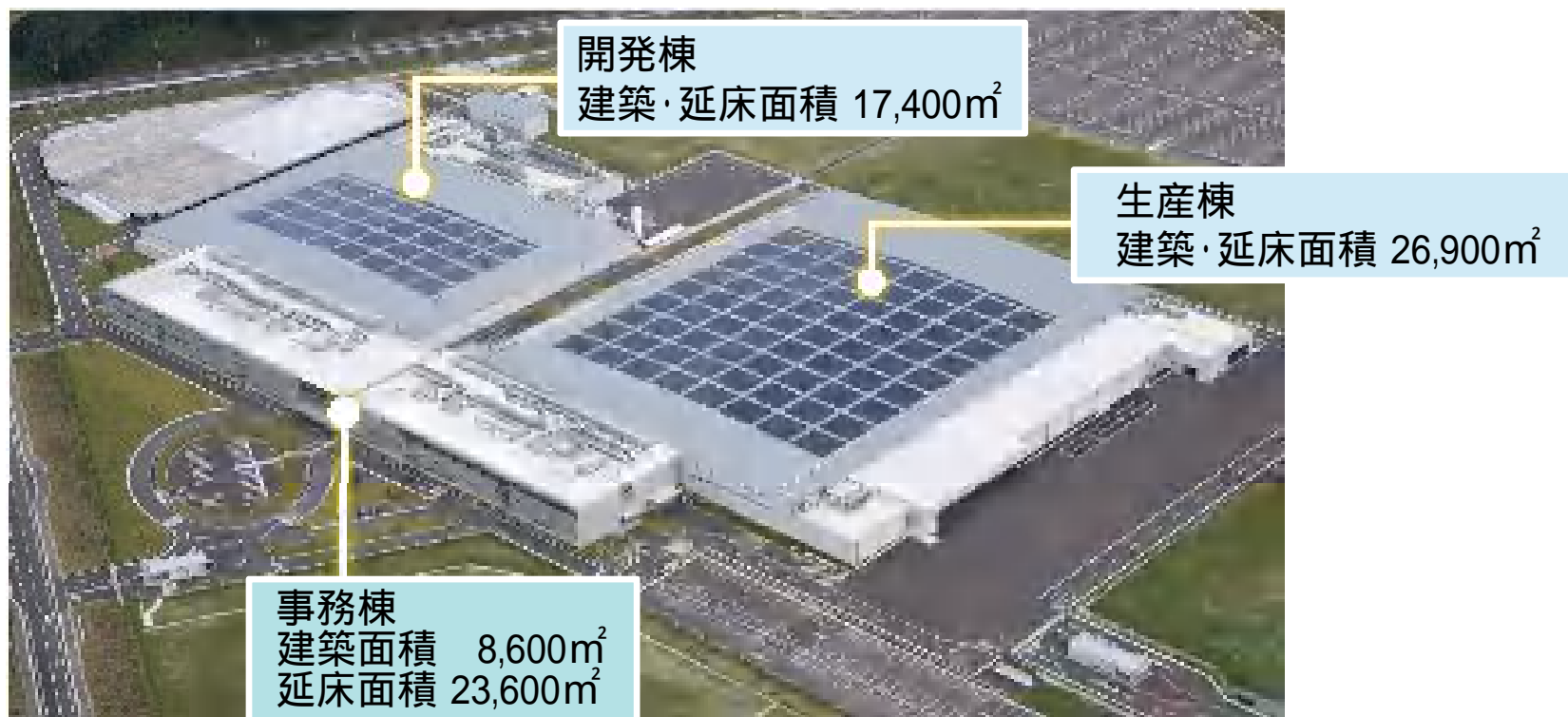
有機EL製造装置

- 蒸着、インクジェット共に評価ラインを構築中
量産適用に向けて高い装置性能の実現を目指す

エッチング装置新拠点、宮城新工場稼働開始へ

開発と量産機能を集約した一貫体制により、高品質の製品をタイムリーに提供することを目指す

- 稼働開始：2011年10月11日
- 生産リードタイム：2ヶ月以下
- 生産能力：従来の2倍以上



サマリー

1. 上期業績は、売上は若干未達も、利益面では予想を上回った
2. 市場環境の悪化によりSPE受注は調整期にあるが、先端ロジック投資に回復の兆し
3. 通期売上ではFPDの市場減速などの影響を受けるも、連結利益は上方修正
4. 注力製品ではシェア改善が進展、新規事業では開発製品の顧客評価が始まるなど、中期戦略に則り進行中
5. 厳しい環境ではあるが、成長投資は高水準を維持

▶ 将来見通しについて

本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、経済情勢、半導体/FPD/PV市況、販売競争の激化、急速な技術革新への当社の対応力、安全・品質管理、知的財産権に関するリスクなど、様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

▶ 数字の処理について

記載された金額は単位未満を切り捨て処理、比率は1円単位の金額で計算した結果を四捨五入処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

▶ 為替リスクについて

当社の主力製品である半導体製造装置及びFPD/PV製造装置の輸出売上は、原則円建てで行われます。一部にドル建ての決済もありますが、受注時に個別に先物為替予約を付し、為替変動リスクをヘッジしています。従って、収益への為替レート変動による影響は極めて軽微です。

FPD/PV：フラットパネルディスプレイ及び太陽電池